

オーストラリアの施策概要

■ 施策枠組

総合計画	<ul style="list-style-type: none">● <u>国家廃棄物施策行動計画（詳細①）</u>● <u>国家プラスチック計画（詳細②）</u>● <u>海洋ごみが沿岸及び海洋の脊椎野生生物に与える影響に関する脅威軽減計画（詳細③）</u>
基本法制度 拡大生産者責任 (EPR)	<ul style="list-style-type: none">● 国家廃棄物施策● 大臣の製品管理優先リスト
資源循環	
リデュース	<ul style="list-style-type: none">● <u>国家廃棄物施策行動計画(詳細①)</u>● Plastic Free Beaches
リユース リサイクル	<ul style="list-style-type: none">● リサイクル及び廃棄物削減法● 環境保護（使用済み包装材）対策● リサイクル投資計画
マイクロ ビーズ	<ul style="list-style-type: none">● 段階的廃止の業界自主計画の支援
代替素材	
公共調達	<ul style="list-style-type: none">● <u>国家廃棄物施策行動計画（詳細①）</u>

■ 適正処理

廃棄物処理 体制	<ul style="list-style-type: none">● リサイクル近代化基金
流出防止	<ul style="list-style-type: none">● <u>国家プラスチック計画（詳細 ②）</u>
ごみ回収	<ul style="list-style-type: none">● ゴースト・ネット・イニシアティブ● 環境回復基金● コミュニティー環境プログラム

■ 横断的取組

技術開発	<ul style="list-style-type: none">● 共同研究センタープロジェクト（CRC-P）助成金● リサイクル近代化基金● 近代製造戦略
普及啓発 官民協力	<ul style="list-style-type: none">● <u>オーストラリア包装誓約（詳細④）</u>● プラスチック・デザイン・サミット● 全国プラスチック・サミット
科学的知見 の蓄積	<ul style="list-style-type: none">● 国家廃棄物報告書● プラスチック汚染のモニタリング実施要領及びデータベース
国際協力	<ul style="list-style-type: none">● リサイクル及び廃棄物削減（廃プラスチック輸出）ルール● Pacific Ocean Litter Projectへの資金提供

① オーストラリア：国家廃棄物施策行動計画



国家廃棄物施策（2018年）を実施するための、2030年までの廃棄物管理、リサイクル、及び資源循環に関する目標や対策。循環型経済の原則に基づき、7つの目標が設定されている。オーストラリア包装誓約協会（APCO）が設定した包装に関する国レベル目標の達成も補完・支援している

策定年・期間 2019年策定、2030年まで

目標等

- 2020年の下半期以降に廃プラスチック、紙、ガラス、及びタイヤの輸出禁止
- 2030年までに国民一人当たりが排出するごみの量を10%削減
- 2030年までに全ての廃棄物の種類における資源回収率平均80%を達成
- 政府及び産業界による再生材料の使用を大幅に増加
- 2025年までに問題ある不要なプラスチックを段階的に廃止

対策

- プラスチックのリサイクル及び廃プラスチック削減に向けた革新的な解決策への資金提供
- ライフサイクルを通じた材料の価値を最大化する国家基準の策定、又は国際基準の導入
- Circular Economy Hubというオンラインプラットフォームを立ち上げ、教育・情報提供、回収された資源の売買マッチングを促進
- 産業界の引率のもとで全ての包装における再生材料平均含有率の目標値の設定支援、国のリサイクルラベルにおける再生材料含有率の表示
- 問題ある不要なプラスチックの8種類の特定（2021年4月15日）：軽量レジ袋、ストロー、カトラリーやマドラー、食器類、発泡スチロール製食品容器・包装材、マイクロビーズ、誤解を招くような「分解性」と表示されているプラスチック製品

②オーストラリア：国家プラスチック計画

全国プラスチック・サミット（2020年3月）で提案された対策を基に、ライフサイクル・アプローチによる「プラスチック問題」に対する行動計画。プラスチック製品のデザインや、リサイクル能力の増加、リサイクル材料の需要増加、プラスチックの流出防止等について5つの柱を策定。

策定年・期間 2021年

目標等

- **抑制**：2022年12月までに問題ある不要なプラスチックの段階的廃止（非認証コンポスト可能包装容器、発泡スチロール製品、PVC包装ラベル）
- **リサイクル**：全ての包装容器を2022年までに42%、2025年までに50%のリサイクル率達成
- **対消費者**：スーパーマーケットにおける80%程度の商品がオーストラリア・リサイクル・ラベルを表示
- **海洋・水域**：新しい洗濯機におけるマイクロファイバー・フィルターの段階的導入（2030年7月1日まで）
- **研究・イノベーション・データ**：廃棄物データ可視化プラットフォームの作成、リサイクル・廃棄物削減の革新的研究事業への資金提供

対策

- **抑制**：Plastic Free Beaches（主要な海岸における使い捨てプラスチック製品の排除）、プラスチック・デザイン・サミットの開催、国家包装目標値（2025年までの4つの目標の内2つが関連）
- **リサイクル**：未分類の混合プラスチック（2021年7月1日以降）及び未加工の単一ポリマー又はプラスチックレジン（2022年7月1日以降）の輸出禁止、「リサイクル近代化基金」による国内のリサイクル能力の増大、国家包装目標値（2つの目標が関連）
- **消費者**：カーブサイド（戸別）リサイクル収集の統一化、Recycle Mateアプリ（リサイクル可能な製品の特定）、州・特別地域の容器デポジットスキームの整合
- **海岸・水域**：海洋ごみ及びマイクロプラスチックに関する国際協定策定の推進、タバコの吸い殻に関する分野横断的管理タスクフォース、北部の海洋ごみ回収、国際協力（インドネシア、太平洋諸国へ資金提供）
- **研究・イノベーション・データ**：国家環境科学事業（NESP）において廃棄物の影響管理が優先的課題

③オーストラリア：海洋ごみが沿岸及び海洋の脊椎野生生物に与える影響に関する脅威軽減計画（Threat Abatement Plan）



「環境保護及び生物多様性保全法1999」において、有害な海洋ごみの摂取や絡みつきによる脊椎海洋生物の死傷事故が主要な脅威プロセスとして特定されているため、これらの影響を軽減するための計画。研究・モニタリング、市民の教育、陸域及び海域の排出源の抑制・削減、海洋ごみの回収等の管理対策を策定。

策定年・期間 2009年の計画を置き換えるものとして2018年策定。5年以内に見直し予定。

目標等

- 目的①：海洋ごみの長期的発生防止への貢献
- 目的②：海洋プラスチックやマイクロプラスチックが主要な種、生態系コミュニティ、及び場所に与える影響の規模の理解
- 目的③：既存の海洋ごみの除去・回収
- 目的④：海洋ごみの量、発生源、種類、有害な化学汚染物質をモニタリングし、海洋ごみ削減のための管理体制の有効性の評価
- 目的⑤：マイクロプラスチックや有害な化学汚染物質を含む有害な海洋ごみの原因及び影響について一般市民の理解を深め、行動の変化をもたらす

対策

- 目的①：多様な関係者から構成される脅威軽減計画（TAP）チームの設立、使い捨てプラスチック製品の環境への流出量の抑制、循環経済の促進、廃棄物の回収・処理技術の革新の奨励、逸失・投棄漁具（ALDFG）及び船舶関連廃棄物の管理向上
- 目的②：海洋ごみが集積する場所の地図作成・公表、海洋脊椎生物に影響を与えるプラスチック類の特徴把握、海洋ごみ（マイクロプラスチックを含む）が発生する経路の調査、南氷洋等における海洋プラスチックごみの調査
- 目的③：沿岸における清掃活動の支援（全国的な調整、回収ごみの再利用・リサイクル・適正な処分、回収されたごみの分離データの収集）、ALDFG（ゴーストネット等）の回収・適正な処分
- 目的④：長期的な沿岸ごみ調査の継続、陸域由来プラスチックごみの全国的なモニタリングシステム構築、海洋へ流入するプラスチックごみの削減を目的とした施策の評価、ゴーストネットの排出源と影響に関して情報収集
- 目的⑤：政府のSNSや学校、市民団体を通じて海洋ごみの影響に関する国民への発信、ごみの投げ捨て防止及びリサイクルの向上を目的とした情報発信（例えばマイクロプラスチックや生活による海洋ごみの発生要因の情報）

④オーストラリア：オーストラリア包装誓約 (Australian Packaging Covenant)

「国家環境保護（使用済み包装容器材料）措置2011」（NEPM）に基づき、企業が包装容器の管理を実施することを目的とした全国的な規制枠組み。7つの原則により製品管理と責任の共有の実現を目指しており、オーストラリア包装誓約協会（APCO）が誓約の管理と運営を担っている。また、5年間の戦略的計画により誓約の実施が具体化されている。

策定年・期間

第一次誓約は1999年承認、最新版（第4次）は2017年公表。

目標等

- **サプライチェーンを通じた消費者包装の資源回収の最適化**：包装・包装された製品のデザイン、使用、及び購入に関するアプローチを変更し、包装に使用する資源の削減、リサイクル性の向上、包装材の経済循環の実現により、生活者包装の廃棄物を最小化する。
- **流出する包装容器の環境への影響防止**：環境への流入前に包装材・廃棄物を捕捉するイノベーションや解決策の支援、新規又は代替の包装の導入。

対策

APCOが2018年に掲げた「2025年全国包装目標」の達成に向けて、「戦略的計画2017～2022」において以下の3つの主要な優先的分野及び活動を示している。各分野には具体的な数値目標を含めた重要業績評価指標（KPI）も設定されている。

- 【デザイン】持続可能な包装ガイドライン（SPG）、包装のリサイクル性評価ポータル（PREP）
- 【システムと教育】オーストラリア・リサイクル表示・プログラム（ARL）、年間報告ツール（ART）、包装の持続可能性枠組み（PSF）、研究、データ分析、持続可能な包装に関する情報・資源のインターアクティブシステム（SPIRIT）
- 【資源循環】関係者とのパイロット事業等を通じた戦略的パートナーシップ、様々な分野の専門家から構成される共同行動グループ（CAG）、テーマ毎の作業部会